

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【公開番号】特開2011-7676(P2011-7676A)

【公開日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-002

【出願番号】特願2009-152363(P2009-152363)

【国際特許分類】

G 01 P 3/489 (2006.01)

G 01 P 3/486 (2006.01)

B 41 J 2/01 (2006.01)

【F I】

G 01 P 3/489 D

G 01 P 3/486 A

B 41 J 3/04 101Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

また、UIパネル90は、各種の情報を表示するための表示部と利用者が任意の情報や指示を入力可能な入力部を含んで構成され、具体的には、例えば表示部としてのディスプレイ上に入力部としての透過型のタッチパネルが重ねられたタッチパネルディスプレイ等で構成される。ロータリエンコーダ52は、画像形成ドラム44の回転に伴って検出部74(の光電変換部80)から出力された出力パルス信号をコンピュータ86へ供給する。なお、ロータリエンコーダ52は光電変換部80の出力電流の大きさを検出する電流検出部(図示省略)を内蔵しており、電流検出部によって検出された光電変換部80の出力電流値もコンピュータ86へ出力される。記録ヘッドコントローラ92はCPU86Aからの指示に従ってインクジェット記録ヘッド48の作動を制御し、モータコントローラ94はCPU86Aからの指示に従ってモータ30の作動を制御する。なお、コンピュータ86及びロータリエンコーダ52は本発明に係る速度検出装置に対応しており、インクジェット記録ヘッド48は請求項7に記載の記録手段に、CPU86A及び記録ヘッドコントローラ92は請求項7に記載の制御装置に各々対応している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

ステップ170では、先に説明したステップ152と同様に、コードホイール70の表面のうちラインiが記録されている部位付近におけるコードホイール70の回転軸方向への変位量wiを検出するタイミングが到来したか否か判定し、判定が肯定されるとステップ170を繰り返す。ステップ170の判定が肯定されるとステップ172へ移行し、先に説明したステップ154と同様に、出力パルス信号と共にロータリエンコーダ52から入力される光電変換部80の出力電流値を取得し、取得した出力電流値に基づいてライン

i 付近におけるコードホイール 70 の回転軸方向への変位量 w_i を演算し、演算した変位量 w_i を RAM86C に記憶されている変位量 w_i に上書きして記憶させる。